

第1章 「ダイバーシティに関するアンケート」調査の概要

1-1. 調査の目的

「岡山大学ダイバーシティポリシー」(2009年10月20日制定)を踏まえて、これまで約10年間にわたり本学が取り組んできた男女共同参画及び次世代育成に関する施策の効果を検証するとともに、第4期中期目標期間における施策検討に向けた基礎資料とする。

1-2. 調査の実施組織

ダイバーシティ&インクルージョン企画推進委員会の下部組織であるD&Iアンケートワーキング・グループ(以下の4名)が実施した。

氏名	所属	職名
片岡 仁美(責任者)	岡山大学病院・ダイバーシティ推進センター	教授
池谷 航介	教育推進機構 障がい学生支援室	准教授
樋口 千草	保健管理センター	助教
中谷 文美	文明動態学研究所	教授

1-3. 調査対象

2021年2月1日時点で岡山大学に在職する全教職員(再雇用職員, 非常勤職員及び契約職員を含む)及び大学院生(研究生を含む)を調査対象とした。

1-4. 調査方法

上記調査対象者に電子メールにより, moodle 上のアンケートへの回答を依頼した。教員および大学院生に対しては英語版のアンケートも準備した。なお, 抽象的な言葉の理解が困難な職員のためには, 平易な日本語版を作成し, 紙媒体で配布した。このほか, moodle での入力環境がなく紙媒体での送付を希望した者に対しては, 個別に紙媒体で配布した。和文・英文・平易な日本語のバージョンについては, 回答者自身による選択が可能な状態で実施した。

1-5. 調査時期

2021年2月1日に開始し, 2021年2月28日を回答期限とした。

1-6. 調査項目

調査項目は以下の項目とし, 各項目の中に細かい質問を設けた。質問事項については, 教員用, 職員用, 附属学校教員用, 大学院生用に対応して, 内容, 表現を調整し

た。具体的な質問内容は資料 2 に示す。

回答者について

ワークライフバランスについて

男女共同参画について

その他多様な参画について

大学における研究・教育・職務等について

ウェルビーイングとダイバーシティ&インクルージョンについて

1-7. 回答者数

アンケートの対象者数と回答者数は下の表に示した。全対象者数は 8748 名で、回答者数は 1732 名、回答率は 19.8%であった。アンケート回答者のうち 1608 名 (92.8%) が和文・moodle により回答し、英文・moodle で回答した者は 62 名(3.6%)、平易な日本語による回答者は 55 名(3.2%)、和文・紙面での回答を行った者は 7 名(0.4%)であった。

アンケート対象者数・回答者数・回答率

	対象者数	回答者数	回答率
教員	2048	437	21.3%
職員	3521	1065	30.2%
附属学校教員	99	29	29.3%
大学院生	3080	201	6.5%
合計	8748	1732	19.8%